

書名 項目	<h1>新編 新しい社会</h1>	2 東 書
内 容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○語句を側注「ことば」で解説し、巻末にその索引を設けている。振り返りやまとめにも生かすことで、学習内容の定着を図れるように工夫している。 ○「まなび方コーナー」を設け、学習場面に応じた調査方法や資料の見方、読み取り方を具体的に示し、全学年を通じて系統的に資料活用の技能を習得できるようにしている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「まとめる」「いかす」段階では、「まなびのポイント」として、思考や話し合いの観点を示している。 ○「まとめる」のページでは、多様なまとめ方や表現方法を提示している。 (白地図、年表、紙芝居、意見文等) <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習段階に応じて「まなびのポイント」として「学習活動」が例示され、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるようになっている。 ○導入動画やインタビュー動画など、学習内容に関連した動画がQRコンテンツとして掲載され、児童の学習意欲を高めようとしている。 <p>＜学習の課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学習の進め方」が序盤に示されており、該当する場面ごとに色分けされている。 ○例示されている学習問題の文言が具体的で、調べる内容を焦点化しやすい。 ○学習問題の答えについてまとめたのち、「ひろげる」として発展的な内容が示されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○インタビューや説明の動画等の探したい情報がQRコードから見つけやすいように、何の資料についてのQRコードなのかが明記されている。 ○巻頭にある教科書の活用の仕方や各ページの「まなび方コーナー」、ドラえもんが目印マーク等を活用して、学び方・調べ方を身に付けられるようになっている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○学習を一緒に進める小学生のキャラクターたちの会話で構成されているページもあり、親しみを持って本文を読めるようになっている。 ○アニメのキャラクターのセリフで、児童の疑問を引き出したり、異なる視点で見ることを促したりしている。 ○6年生の歴史では、本文に年号を用いた説明が多い。キーワードや難解な語句は欄外で解説されている。 ○「見方・考え方」の三つの観点ごとに、アニメのキャラクターが使い分けられている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○学習問題が明確であり、児童が見通しをもって、主体的に問題解決に取り組むことができるようになっている。「まなびのポイント」で、学習活動が明確に示されている。 ○ICTを活用した学習を充実させるため、QRコードが掲載され、インタビューや説明動画等の情報が閲覧できるようになっている。 	

書名 項目	<h1>小学社会</h1>	17 教 出
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○語句を側注「キーワード」（必要に応じて「解説」）で取り上げ、巻末にその索引を設けている。振り返りやまとめにも生かすことで、学習内容の定着を図れるように工夫している。 ○「学びのてびき」を設け、学習場面に応じた調査方法や資料の見方、読み取り方を具体的に示し、全学年を通じて系統的に資料活用の技能を習得できるようにしている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○キャラクターの会話に、時期や変化、工夫や関わり、関連付け等、何をどのように考えるのか視点が示されている。 ○「まとめる」ページでは、関係図に表す方法やカードに書き出してタイトルをつける方法など、多様なまとめ方が例示され、考えを表現しやすいよう工夫されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○単元の導入部分では、「学習問題」が例示され、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるようになっている。 ○日本の歴史の写真資料の一部について、人工的に着色して掲載されており、当時の出来事を児童がより身近に感じることができるようになっている。 </p> <p> <学習の課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○「社会科の学習の進め方」が序盤に示されている。「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の流れがサイクル状に示されており、まとめから新たな学習問題を導く思考の流れが視覚的にわかりやすくなっている。 ○例示されている学習問題の文言が、児童の多様な考えを引き出せるような内容になっている。 ○発展的な内容として、単元のまとめとSDGsを関連付けて提示している。 </p>	
資 料	<p> ○児童の気づきを促すために資料を大きく掲載したり、歴史上のできごとを身近に捉えられるよう白黒写真をカラー化して再現したりしている。 ○巻頭において社会科の見方・考え方や学び方について掲載したり、各単元の最後に、学習問題に対するまとめの仕方を詳しく説明したりしている。 </p>	
表記・表現	<p> ○本文以外の部分は色分けされ、本文の読み取りがしやすくなっている。 ○ページの終末に「次につなげよう」コーナーが設定されている。 ○本文がひとまとまりになっていて、会話文などが挿入されていないページが多い。しっかりと読み込むことで、内容が理解できるようになっている。 ○他の教科との関りが示されている。 </p>	
総 括	<p> ○資料を大きく掲載し、子供たちの気づきを促し、学び合いが活発に行われるよう工夫されている。 ○巻頭にタブレットを活用した学習の進め方が示されている。QRコードが掲載され、資料の詳細や学び方について閲覧できるようになっている。 </p>	

書名 項目	<h1>小学社会</h1>	1 1 6 日 文
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○語句を側注「キーワード」や「むずかしいことば」で細かく解説し、巻末にその索引を設け、学習内容の定着を図れるようにしている。 ○「学び方・調べ方コーナー」では調査方法や資料の読み取り方を学習場面に応じて示し、全学年を通じて系統的に資料活用の技能を習得できるようにしている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「見方・考え方」コーナーを設け、空間や時間、関係等の視点を示して、社会的な見方・考え方を育むための工夫をしている。 ○まとめのページでは、ノートでのまとめ方や新聞、図、年表等多様なまとめ方が示されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の導入部分では、「学習計画」が例示され、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるようになっている。 ○資料の解説や拡大画像など、学習内容に関連した動画がQRコンテンツとして掲載され、児童の学習意欲を高めようとしている。 <p><学習の課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「社会科の学習の進め方」が序盤に示されている。 ○「つかむ」「調べる」などの言葉でなく、「問題を発見する力」「問題を追求・解決する力」「問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力」等、具体的な言葉を使って学習場面を提案している。 ○例示されている学習問題が、児童の多様な考えを引き出せる内容になっている。 ○「未来につなげる」という発展的な内容のページで、SDGsについて触れている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○課題を解決するために必要な資料的内容が本文のどこにあるのか、児童が見つけやすいように色分けがされている。 ○巻頭の「社会科の学習の進め方」で問題解決的な学習の仕方を説明している。 ○キーワードやわかりにくい用語について、細かく説明している。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○学習を一緒に進めるキャラクターの会話で、児童の思考を促す構成になっている。本文が薄く色分けされている。 ○各ページの冒頭が、前時の疑問を受けた形になっており、終末が次時への疑問を考えさせる文になっているページが多い。 ○本文が必要最低限の記述になっている。キーワードや難解な語句について、欄外で解説されている。 ○「見方・考え方」の3つの観点で、それぞれイラストを使い分けている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○豊富な資料が掲載されており、目的に応じて、必要な資料を選択し、活用できるようになっている。 ○年間を通じ、SDGsの視点を通して、学習内容や社会の諸課題を考えさせようとしている。 	